

通所介護 足原のぞみ苑 デイサービスセンター
令和 5 年 度 事 業 計 画

1 基本方針

- 1 利用者が、住み慣れた地域で豊かな在宅生活を送れるよう、各部署と協力・連携をして、身体面・精神面・環境面等の様々な側面から自立支援を行う。
- 2 サービスの提供に当たっては、明るく家庭的な雰囲気づくりに努め、地域や家族との結びつきを密接にするよう取り組む。
- 3 日々の生活の活動範囲が拡大し残存機能を発揮できるように「機能訓練」を積極的に行い明確な目標設定が実現できるように努める。
- 4 職員の専門性や技術の向上を図り、やりがいを持つ事で仕事への意欲を高める。また働き甲斐があり働きやすい職場環境を作っていく。
- 5 平均利用者数の目標を26人とし、デイサービス職員全体の目標と意識できる様に努める。

2 事業計画

①自立支援

- 1 認知症の利用者の対応方法に対して職員が専門性を磨き、支援の質を高めることで利用者が落ち着いた環境で過ごせるよう努める。
- 2 受動的プログラムから能動的プログラムへと転換を図り、達成感を味わうことで自立支援に繋げる。
・クラブ活動（生け花・園芸・調理・物書き）を実施する。

②健康管理

- 1 アセスメントの実施、既往歴などを把握、体調不良等の早期発見を徹底する。
- 2 手洗い、消毒、換気等の徹底により感染症を予防する。
- 3 内服薬の把握、管理を行う。
- 4 利用者が自宅でも出来るよう日常生活に有効な健康講座の実施。
- 5 他職種、家族、主治医との連絡・連携の強化・協力を行う。

③機能訓練

- 1 歩行分析 AI アプリを使用し、継続的に歩行状態の動画をとる事で利用者の変化が見える化する。
- 2 集団体操の見直しを行う。(日常生活動作に焦点をあてる。DVD 導入)

④職員教育

- 1 仕事内容、介護技術の自己評価表に基づき達成度の確認。
- 2 新規採用職員に対し、採用時研修を採用後速やかに実施する。
- 3 施設内研修の年間を通じた計画を立て、職員として必要な知識と技術の向上を目指す。

⑤地域支援

- 1 生活相談員は防犯パトロール、町美化活動、文化祭への参加など感染対策を行いながら町内活動に参加することで地域貢献活動を行う。
- 2 コロナ禍の前に行っていた地域の保育園や学童との交流を再開する。

⑥家族交流

- 1 送迎時には介護の悩み事に対して職員が一緒に考え、解決できるよう支援していく。
- 2 デイサービスだよりを毎月発行し、デイサービスの様子を家族に伝える。

⑦職場環境

- 1 年間2回面談を行い、職員の話聞くことで信頼関係を深め、安心して働くことができる職場づくりを目指す。
- 2 法人としての補助制度により、介護福祉士資格取得を支援する。
- 3 残業の内容把握と業務時間の調査を行う。

⑧事業目標

- 1 平均利用者数を26人とし、稼働率65%を目指す。
これを部署職員全体の目標と意識できる様、月平均を見える化する。
- 2 入職者ニーズを明確化し時間に制限のある非正規職員も視野に入れ、忙しい時間帯に重点を置くことでバランスの取れた効率的な事業運営を図る。
- 3 予算管理を徹底し、部署の適正費用や職員配置について、他部署との検討を継続する。